

『妖詣～あやかしもうで～』の感想調査

『妖詣～あやかしもうで～』を実際に読んだ人を対象に感想レビューを募集しました。

【調査概要】

本調査は、漫画『妖詣～あやかしもうで～』を実際に読んだ読者の感想や印象を収集・整理することで、本作品が持つ魅力や読者の心に残るポイントを可視化し、今後の紹介・展開に活かすことを目的としています。作品の内容をしっかりと読み込んだうえで語られたリアルな感想を通じて、これから読む人がワクワクして欲しいと思っております。

- 調査期間:2025年10月14日~15日
- 調査方法:ランサース
- 調査対象:『妖詣～あやかしもうで～』を購入して読んでくれた男性
- 感想記載者数:4名

調査	年齢性別	感想
1	44歳/男性	ダブルデック製作所さんの“異形×エロス”の真骨頂ともいえる傑作でした。冒頭から漂う不穏な雰囲気と、徐々に性的な好奇心へ変わっていく主人公の心理描写が本当に巧み。特に、夢精から始まる“無垢な興奮”が物語を通して成長と背徳を象徴していて、ラストに向けて一気に没入しました。異形ヒロインの造形美と圧倒的な存在感も見事で、ただの恐怖ではなく、恋と快楽の境界を描いたドラマとして完成度が高すぎます。まだDLsiteで6000本しか売れてないのが信じられないほどの作品でした。
2	32歳/男性	“怖いのに目が離せない”という表現がまさにぴったりの作品。序盤の怪異的な演出に緊張感がありつつも、次第にその“異形”がヒロインとして魅力的に映ってくる構成が本当に上手いです。主人公が恐怖よりも愛情と欲望を優先していく流れはまるで青年の覚醒譚。後半の展開は意外性がありながらも綺麗にまとまっていて、読後は妙な余韻と満足感が残りました。異形×恋愛というジャンルが好きな人にはぜひ読んでほしい一作です。
3	31歳/男性	封印された“あやかしの女性”と出会ってからの展開がとにかく惹き込まれます。思春期の少年が禁断の存在に触れていく過程が、恐怖と好奇心の狭間で描かれていて圧巻。繊細な心理描写と圧倒的な画力で、読むほど不思議な没入感に包まれます。神秘的で幻想的な世界観が魅力の一作です。
4	44歳/男性	神社の跡取りとして育った少年が、封印された“異形の存在”と出会う物語。幻想と現実の境界が曖昧になるような演出が美しく、ページをめくる手が止まりません！怪異に対する恐怖よりも、どこか惹かれていく心の変化が丁寧に描かれており、静かな熱を感じる作品でした。新作も出て欲しいな～